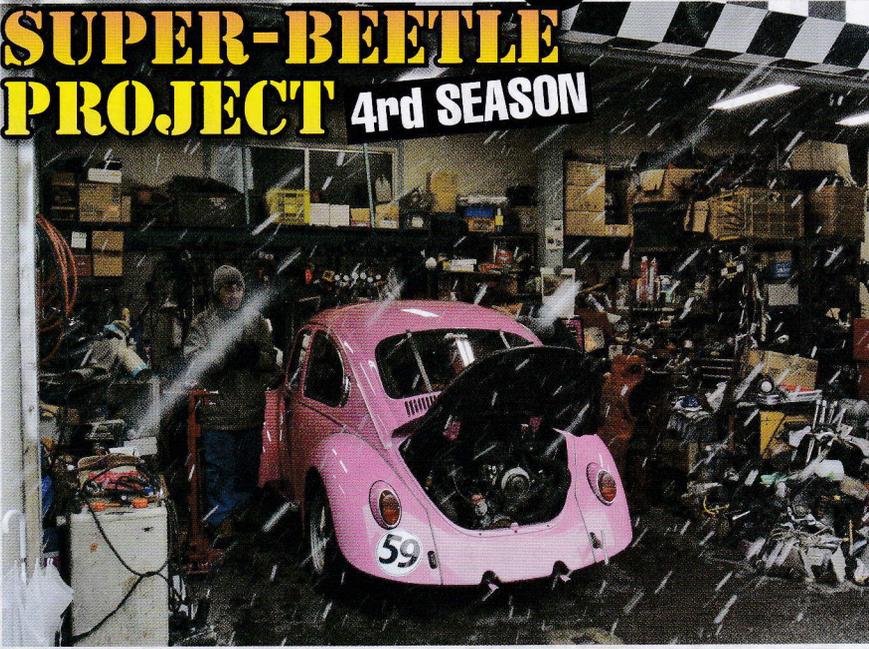


F-ROAD ビンビープロジェクト・フォーシーズン! Vol.29

文●半谷 一 撮影●森口 信之
取材協力●ベストインポートサービス(BIS)
tel:048-282-6119 http://www.vw-bis.co.jp

SUPER-BEETLE PROJECT 4rd SEASON

第4シーズン最初の作業は
レーシーなインパネを作る!



このポロのインパネはご覧のように何箇所かのボルトで固定されています。表面にバコッと上から被せるようにして装着されているため、ボルトとハーネスを取り外すだけで、比較的簡単に取り外すことができるようになっています。



さよなら、ポロのインパネ。古Q編集長自ら取り外してもらうことにしました。取り付けるときは色々加工しなければならぬ部分も多々あって、結構時間が掛かる大変な作業でしたが、ご覧のように取り外すのは非常に簡単でした。



これがダッシュボードを外した状態。同じ空冷VWでも1302まではフラットなインパネでしたが、1303のみは樹脂製のダッシュボードを上から被せてあります。そのためダッシュを取り外した状態ではこのような状態になってしまいます。



今度のインパネはレーシーな雰囲気重視したいので、平らな板の上にメーターやインジケーター、スイッチなどを並べて配置するという手法で製作する予定。素材はカーボンか？ アルミか？ もちろん段ボールじゃありませんかね。



古Q編集長、完成したときのイメージということで、段ボールの上にメーターを書き始めました。センターがタコメーターというのは分かりますが、あとは何が何だか全然分かりません。メーターの種類、どう考えてもこんなにはありません。



ハーネスのコネクターを取り外す前に、それぞれのハーネスがどこにつながっていたのかを忘れないように、マスキングテープにマーキングしておきます。いま外した配線がどこにつながっていたのか？ も分からなくなってしまうものです。



現状では必要なスイッチ類やインジケーターすらあちこちに分散しているような状況なので、新しいインパネではそれらの配置を検討し直すことになるでしょう。場所的に余裕があれば、新しいメーターやスイッチも追加できるかも知れません。



最初の作業はステアリングの取り外し。ステアリングを外すときには、センターのナットを完全に外してしまわないこと。そうしないと、ステアリングが固着していたりした場合、抜くときに顔面にヒットして怪我をする恐れがあります。



メーターのカバーはトルクスのネジで固定されていました。カバーを外せば、こんな感じでメーターにアクセスすることが可能。ビンビーのタコメーターはチューニングVW用としては定番であるオートメーターの製品です。これは流用だな。



これが現状のビンビーのインパネ。一見きちんと付いているように見えますが、実はハーネスを始め結構荒っぽい所もあり、燃料計もアテになりません。作業前にバッテリーのマイナス側を外しておきました。

「今年の秋、ワイズカップの耐久レースに出場したいので、もう一度草レース仕様へと戻します。まず最初はインパネの変更。ポロのインパネがちゃんと付くことは証明できたので、次はもっとレーシーな、例えば板の上にメーターをすらすらと並べたようなインパネにしたいなあ」
確かに実際に取り付けしてみると、ポロのインパネは草レース仕様としては色々不都合なことがあるのも事実。せっかくなので完成したばかりで少しもつけない気もしますが、ここは古Q編集長の意見を尊重することにしましょう。
てなわけで、今月からは気分も新たにビンビープロジェクト第4シーズンとして、新しいスタートを切らせていただくことになったわけですが、実はこの新シーズンの取材開始日は、あの関東地方で大雪が降った日！ 何となく前途多難を暗示しているような気がするなあ……